

事業所グリーン宣言

～環境にやさしい事業所をめざしませんか？～



地球温暖化に代表される様々な地球環境問題を解決するためには、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で、環境負荷の少ない行動に取り組まなければなりません。

環境にやさしい事業所を目指して、できることから始めてみませんか？

熊本市

目 次

脱炭素に向けた取り組みが求められています	P. 2
「事業所グリーン宣言」とは	P. 3
「エコチェックシート」による達成度の確認	P. 4
脱炭素経営に向けた実践行動	P. 6
1. 省エネルギー	
2. 水	
3. 廃棄物	
その他事業内容に応じて必要な項目	P. 1 2
4. フロンの使用抑制	
5. 製品の開発・設計等	
6. 建築物の建築・解体、開発事業	

脱炭素に向けた取組が求められています

地球温暖化対策の必要性

世界各地で強い台風や集中豪雨、干ばつ、熱波、寒波などの異常気象による災害が発生し、多数の死者や農作物等への甚大な被害が報告されています。これらの異常気象について、世界気象機関（WMO）は、長期的な地球温暖化の傾向と一致しているとし、異常気象への対応として地球温暖化対策（地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出の抑制）に取り組むことが世界の共通かつ喫緊の課題となっています。

本市の取組

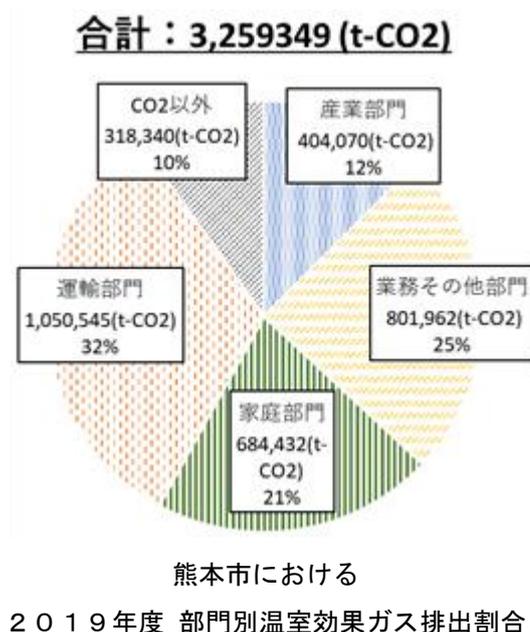
地球温暖化対策は社会的・経済的につながりがある地域が一体となって取り組むことがより効果的であることから、本市を含む熊本連携中枢都市圏では、「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」（カーボンニュートラルや脱炭素ともいいます）を目指すことを共同で宣言するとともに、令和3年3月「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画」を策定し、再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギーの推進などの地球温暖化対策に取り組んでいます。

事業所グリーン宣言に取り組むことの意義

本市の温室効果ガス排出量のうち、約37%が産業部門と業務その他部門から排出されており、脱炭素に向けた事業者の取組が大きな鍵となっています。

脱炭素に向けた取組は地球温暖化防止に加え、消費者や取引先などからの社会的信用の獲得や経費削減にもつながります。

「事業所グリーン宣言」の取組は、「エコアクション21^{※1}」や「ISO14001^{※2}」などの環境マネジメントシステムの認証取得にもつながります。



この「事業所グリーン宣言」で脱炭素に向けた第一歩目を踏み出しましょう。

※1「エコアクション21」

環境省が策定し、平成16年度から認証登録制度を開始した環境マネジメントシステムで、認証登録にかかる費用が「ISO14001」に比べ少なくすむため、中小事業者にも取り組みやすいシステムです。

※2「ISO14001」

平成8年に発行された環境マネジメントシステムの国際規格。P（Plan 計画）→D（Do 実行）→C（Check 点検）→A（Act 見直し）のサイクルを繰り返すことにより事業における環境保全活動を進めていくものです。

「事業所グリーン宣言」とは

「事業所グリーン宣言」は、以下のような流れで進行します。

1. 宣言登録

登録用紙に必要事項を記入し、環境負荷の少ない事業活動に取り組むことを本市（市民）に対して宣言します。

2. 登録証、ステッカーの交付及び登録事業所の公表

市は登録事業所に対して、登録証とステッカーを交付します。また、市ホームページ等で登録事業所名を公表することで、環境保全に取り組む事業所としてPRし、登録事業所のイメージアップに貢献します。

なお、登録事業所は、右のロゴマークを事業所のPR活動に使用することができます。



3. 目標、取組項目の設定及び実践

登録事業所は、「エネルギー・水使用量の削減」及び「廃棄物削減、リサイクル促進」などの具体的な取組を実践します。

そして、その結果（達成度）を「エコチェックシート」に記入します。

4. 情報提供等による支援

市は環境保全に関する情報を提供するなど、登録事業所の環境保全活動に対する支援を行います。

5. 報告・更新

登録事業所は、「エコチェックシート」を毎年4月末までに市に提出します。

ただし、登録初年度については、登録月から次の3月末までの取組についてで結構です。

この報告をもって、登録を1年間更新し、新しい登録証を交付します。

以降3～5の繰り返し

エコ・チェックシート (様式1)

事業所所在地 市 _____

事業所名称 _____ 代表者(姓・名) _____

連絡先 (担当氏名) _____ 通話 _____ (連絡先) _____

取り組み期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

基準年(期間): _____年 (過去3年以内の最も環境負荷が低かった年を基準年としてください)

表1 エネルギー・水等使用量の状況と削減の目標

種別	単位	削減目標		削減結果(%)	
		基準年(期間)の消費量	目標消費量	当該年(期間)の消費量	削減率(%)
電力	(kwh)				%
燃費ガス	(m ³)				%
LPガス	(kcal)				%
灯油	(lit)				%
ガソリン	(lit)				%
軽油	(lit)				%
水	(m ³)				%
CO ₂ -削減*	(kg)				%

※CO₂-削減 換算数値

上記目標達成のための具体的な取り組み項目 (シフトの取組も事例を参考にしてください。)

取り組み項目	達成度
(取り組み開始時に記入)	(様式2の平均値)

※「達成度」の欄には、取り組み終了後、様式3の平均値を記入してください。

廃棄物削減、リサイクル促進の目標 (シフトの取組も事例を参考にしてください。)

取り組み項目	達成度
(取り組み開始時に記入)	(様式2の平均値)

※「達成度」の欄には、取り組み終了後、様式3の平均値を記入してください。

「エコチェックシート」による達成度の確認

登録事業所は、毎年4月末までに、前年度の目標の達成状況及び取り組みを「エコチェックシート」により確認し、報告します。ただし、登録初年度については、登録月から翌3月末までについて報告します。

基準年の使用量（1年分）を記入します。

比較するための基準年を設定します。

様式 1

エコ・チェックシート (様式1)

事業所所在地 〒 _____

事業所名称 _____ 代表者(役職・氏名) _____

連絡先 (担当者名) _____ (連絡先) _____

取り組み期間 _____年__月__日～ _____年__月__日

基準年(期間): _____年
(基準年は各事業所において設定してください。過去のデータがない場合は当概年を基準年としてください)

取組期間

初年度は登録月～3月末。それ以降は、原則4月頭～3月末。

例) 令和5年10月登録の場合
 「令和5年10月～令和6年3月末」

表1 エネルギー・水等使用量の状況と削減の目標

種類	単位	基準年(期間)の使用量①	削減目標(%)②	目標使用量③ ①-①×②×0.01	当該年(期間)の使用量④	削減結果(%) 100-(④÷①)×100
電力	(kwh)					%
都市ガス	(m ³)					%
LPガス	(kg・m ³)					%
灯油	(kl)					%
ガソリン	(kl)					%
軽油	(kl)					%
水	(m ³)					%
コピー用紙*	(枚)					%

1年間の実践結果を記入します。

※コピー用紙: 購入枚数

上記目標達成のための具体的な取り組み項目 (パンフレットの取組み事例を参考にしてください)

取り組み項目 (取り組み開始時に記入)	達成度 (様式3の平均点)

※「達成度」の欄には、取り組み終了後、様式3の平均点を記入してください。

廃棄物削減、リサイクル促進の目標 (パンフレットの取組み事例を参考にしてください)

取り組み項目 (取り組み開始時に記入)	達成度 (様式3の平均点)

※「達成度」の欄には、取り組み終了後、様式3の平均点を記入してください。

重油等、他のエネルギー等を使用している場合は、空欄に記載して使用して下さい。

様式3から算出した平均点を記入します。

表1の目標を達成するために、日常の業務で実践する具体的な行動を記入します。具体的な実践行動については、p.7以降を参考にしてください。もちろん独自にユニークな取組を設定していただいてもかまいません。

廃棄物削減やリサイクル促進のための具体的な実践行動を記入します。p.11以降を参考にしてください。

様式2 エネルギー、水等の月別使用量

エコチェックシート(エネルギー、水等の月別使用量) (様式2)

取得年月	年度		基準年度		年度		事業所名	
	電力 (kwh)	都市ガス (m ³)	LPガス (kg・m ³)	灯油 (kl)	ガソリン (kl)	軽油 (kl)	水 (m ³)	コピー用紙 (枚)
	基準年	今年	基準年	今年	基準年	今年	基準年	今年
4月								
5月								
6月								
7月								
8月								
9月								
10月								
11月								
12月								
1月								
2月								
3月								
計								

様式2についてはエネルギー、水等の使用量を月ごとに記録し、基準年の同じ時期の使用量と比較してみてください。使用量削減のヒントが得られるかもしれません。

様式1

エコ・チェックシート (様式1)

事業所所在地 年 月 日

事業所名称 代表者(姓・氏名)

連絡先 (担当者) (所属) (連絡先)

取得期間 年 月 日 ~ 年 月 日

基準年(期間) 年 (基準年はある事業所において設置してください。過去のデータがない場合は当該年を基準年としてください)

表1 エネルギー・水等使用量の状況と削減の目標

種別	単位	基準年(期間)の使用量①	削減目標(%)②	目標使用量③	当年度(期間)の使用量④	削減結果(%)
電力	(kwh)					%
都市ガス	(m ³)					%
LPガス	(kg・m ³)					%
灯油	(kl)					%
ガソリン	(kl)					%
軽油	(kl)					%
水	(m ³)					%
コピー用紙	(枚)					%

※コピー用紙: 最大枚数

上記目標達成のための具体的な取組項目 (パレットの取組事例を参考にしてください)

取組項目 (取得開始時に記入) 達成度 (様式3の平均点)

取組項目 (取得開始時に記入) 達成度 (様式3の平均点)

※「達成度」の欄には、取得開始後、様式3の平均点を記入してください。

※「達成度」の欄には、取得開始後、様式3の平均点を記入してください。

エコチェックシート(事業所全体の取組項目評価用) (様式3)

取組項目	年度	担当者	月												平均点	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
エネルギー・水等削減																
廃棄物削減																
省エネ対策																
環境教育																
その他																

※各取組項目について、毎月10点満点で評価してください。

様式3 事業所全体の取組項目評価用

様式3については、様式1で設定した取組について、月ごとに評価してみてください。評価は10点満点で行い、1年間の平均点を様式1に記入してください。

様式1で設定した取組項目を記入してください。

従業員の平均点を元に事業所全体の評価

従業員の取組状況チェックシート (様式4)

取組項目	従業員	年												平均点		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
エネルギー・水等削減																
廃棄物削減																
省エネ対策																
環境教育																
その他																

※各取組項目について、毎月10点満点で評価してください。

様式4 従業員の取組状況チェックシート

様式4については、提出の必要はありませんが、従業員の皆さんの取組チェックに使用してくださ

脱炭素に向けた実践行動

ここでは、省エネルギーをはじめとする実践的な取組手法を紹介します。

実際の取組については“**実施体制の構築**”がポイントとなります。責任者を決めて、事業所全体で取り組みましょう。

1. 省エネルギー

1-1. 照明

- ・ 昼休み時間などの不要な照明を消しましょう。
- ・ 廊下など不用な照明は一部消灯しましょう。
- ・ 自然光を積極的に取り入れましょう。
- ・ 天気のいい日は、窓側の照明を消しましょう。
- ・ 窓側の照明だけを消せるような配線にしましょう。
- ・ 照明器具はこまめに清掃しましょう。
- ・ 閉店後は、ショーケースや看板などの照明を消しましょう。
- ・ 照明は、LEDに取り替えましょう。



54Wの一般電球から9Wの電球型LEDランプに交換した場合

(1日8時間使用)

- ・ 省エネ量：年間 131.4 kWh、CO₂の削減量：年間 52.4 kg
- ・ 電気料金の削減額：年間 約2,365円

※電気料金、二酸化炭素排出係数については九州電力を参照

- ・ インバータ式など効率のよい照明器具を使いましょう。
- ・ タスクアンビエント照明（部屋全体の照明は落とし、必要な机だけを照明する仕組み）を導入しましょう。

1-2. 空調

- ・ 空調機器は適切な温度設定（夏28℃、冬20℃）で使用しましょう。

COOLBIZ

WARMBIZ

- ・ 空調機器の運転時間や区域を見直しましょう。
- ・ エアコンのフィルターをこまめに清掃するなど、定期的に保守点検を実施しましょう。
- ・ 温風、冷風の向きを調節しましょう。

- ・ 窓や壁などを断熱化しましょう。
- ・ ブラインドや熱線反射フィルムを利用しましょう。
- ・ 機器の購入時には、省エネルギー型のものを積極的に購入しましょう。

外気温31℃の時、エアコン（2.2kW）の冷房設定温度を27℃から28℃にした場合（1日9時間使用）

- ・ 省エネ量：年間 52.2 kWh、CO₂の削減量：年間 20.8 kg
- ・ 電気料金の削減額：年間 約940円

外気温6℃の時、エアコン（2.2kW）の暖房設定温度を21℃から20℃にした場合（1日9時間使用）

- ・ 省エネ量：年間 91.7 kWh、CO₂の削減量：年間 36.5 kg
- ・ 電気料金の削減額：年間 約1,650円

エアコンの使用時間を1日1時間短縮した場合

冷房（設定温度28℃）の場合

- ・ 省エネ量：年間 32.2 kWh、CO₂の削減量：年間 12.9 kg
- ・ 電気料金の削減額：年間 約580円

暖房（設定温度20℃）の場合

- ・ 省エネ量：年間 70 kWh、CO₂の削減量：年間 27.9 kg
- ・ 電気料金の削減額：年間 約1,260円

出典：東京電力エナジーパートナー

1-3. OA機器

- ・ 長時間使用しない場合は電源を切りましょう。
- ・ 短時間使用しない場合は「省エネモード」や「スリープ」を活用しましょう。
- ・ 「国際エネルギースターロゴ」や省エネラベルのついたOA機器への転換を図りましょう。



国際エネルギースターロゴ



省エネラベリング制度

出典：「省エネ型製品情報サイト」（経済産業省資源エネルギー庁：<http://seihinjyoho.go.jp/>）

「国際エネルギースタープログラム」（経済産業省資源エネルギー庁：<https://www.energystar.go.jp/>）

2024年4月1日に利用

1-4. 給湯・調理機器

- ・ 適切な給湯量・温度で使用しましょう。
- ・ バーナーや排気筒の手入れを行いましょ。
- ・ ボイラーは蒸気漏れがないように点検しましょ。
- ・ 季節に応じて冷蔵庫の設定温度を調節しましょ。
- ・ 標準以上に冷蔵庫に物を詰め込まないようしましょ。
- ・ 冷蔵庫は、背面を壁から離し、風通しのいいところに設置しましょ。
- ・ 電化製品を買い替える際は、省エネ家電を選択しましょ。
- ・ エコキュートや太陽熱温水器を積極的に導入しましょ。

1-5. 再生可能エネルギー等の導入

- ・ 太陽光発電などの再生可能エネルギーを積極的に利用しましょ。

太陽光発電設備を導入した場合

- （4. 5 kWのパネルを設置し
年間4, 500 kWh発電すると仮定）
 - ・ CO₂の削減量：年間 約1. 8トン
- ※熊本市試算



1-6. 自動車・輸送等

- ・ 近距離の移動は、自転車や徒歩で行いましょ。
- ・ 通勤や移動は可能な限り公共交通機関を使いましょ。
- ・ 自動車を利用するときは、相乗りを進めましょ。
- ・ 配送・訪問ルートを最適化しましょ。
- ・ 輸送には、鉄道・海運を積極的に利用しましょ。
- ・ 最大積載量に見合った輸送単位を設定しましょ。
- ・ 宅配ボックスなどを活用し、宅配便は一度で受け取りましょ。
- ・ タイヤの空気圧を適正に保つなど、定期的な点検整備を行いましょ。
- ・ 空ぶかし・急発進などをやめ、エコドライブにつとめましょ。
- ・ 上下3階までの移動はエレベーターを使わず、階段を利用しましょ。
- ・ 電気自動車やハイブリッド車などを積極的に導入しましょ。

ガソリン車の代わりにEVを導入した場合（1年で1万km電気走行時）

- ・ 1台で温室効果ガス排出量は
約1 / 4 = 約1トンの削減効果
- ・ 年間約26万円の節約
（ガソリン代163円/Lの場合）

※熊本市試算



エコドライブの実践効果

- 普通の発進より少し緩やかに発進する（最初の5秒で時速20キロが目安）
やさしい発進を心がけるだけで、10%程度の燃費が改善します
- 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
車間距離が短くなると、市街地では2%程度、郊外では6%程度も燃費が悪化します。
- 減速時は早めにアクセルを離し、エンジンプレーキの活用しよう
エンジンプレーキを活用すると、2%程度燃費が改善されます。
- エアコン（A/C）の使用は適切に
車内の温度設定を外気と同じ25℃に設定した場合、エアコンスイッチをONにしたままだと、12%程度燃費が悪化します。
- ムダなアイドリングストップはやめよう
10分間のアイドリングで、130cc程度の燃料を消費します。
待ち合わせや荷物の積み下ろしの際には、アイドリングを止めましょう。
- 発信前の暖機は不要
現在販売されているガソリン自動車については、-20℃程度の極寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で十分で、暖機不要です。エンジンをかけたら、すぐに出発しましょう。
- 渋滞を避け、余裕をもって出発する
1時間のドライブで道に迷い、10分間余計に走行すると、17%程度の燃費悪化に相当します。
- タイヤの空気圧をこまめに点検・整備
タイヤの空気圧が適正值より50kPa（0.5kg/cm²）不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化します。
- 不要な荷物は積まずに走行
100kgの荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。
- 駐車場所に注意
交通の妨げになる場所での駐車は、交通渋滞をもたらし、他の車の燃費を悪化させます。
- 自分の燃費を把握する
日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果が実感できます。

出典：エコドライブ協会

2. 水

2-1. 心がけ節水

- ・ 水の流しっぱなしをやめましょう
- ・ 水道を使った後は、しっかり蛇口を閉めましょう。
- ・ 歯磨きの際はコップを使用しましょう。
- ・ トイレの水は、大小のレバーを使い分けましょう。
- ・ 食器の汚れや油分は紙で拭いてから洗いましょう。
- ・ 食器のつけおき洗い、洗濯物のまとめ洗いを実践しましょう。
- ・ 定期的に漏水点検を実施しましょう。
- ・ 洗面台等の元栓を調節し、水量を適度に保ちましょう。
- ・ 節水こまを利用しましょう。
- ・ 泡沫蛇口を利用しましょう。



熊本市の節水キャラクター
節水ちゃん

2-2. 節水型機器・設備の導入

- ・ 節水型トイレを導入しましょう。
- ・ 流水音を流す装置を取り付けましょう。
- ・ 雨水の貯留タンクや雨水利用施設を設置し、雨水を利用しましょう。

3. 廃棄物

3-1. ごみ減量（全般）

- ・ ものを大事にし、できるだけ長く使いましょう。
- ・ 事務用品等は計画的に購入しましょう。
- ・ 紙コップや紙皿など、使い捨て製品の使用をやめましょう。

3-2. 紙使用量の削減

- ・ 不要紙の裏面を再利用しましょう。
- ・ 使用済みの封筒を再利用しましょう。
- ・ 両面コピーや縮小コピーを活用しましょう。
- ・ 電子化による、ペーパーレス化を推進する。
- ・ コピー用紙、印刷物の印刷部数及び配布部数の適正化を図る。
- ・ プリントアウトする前に、プレビュー画面で確認し、ミスプリントを減らしましょう。

3-3. 購入者に対する配慮

- ・ 過剰包装をやめましょう。
- ・ レジ袋や使い捨てスプーンなどのワンウェイプラスチックの使用を避け、マイバッグやマイスプーンなどを活用しましょう。
- ・ 量り売り、ばら売りを推進しましょう。
- ・ 詰め替え式の容器・製品、リターナブル容器入りの製品の販売促進に努めましょう。
- ・ グリーン購入法に適合した商品を購入するように努めましょう。

3-4. 適切な分別・リサイクル等

- ・ ゴミは適正に分別・処理しましょう。
- ・ ゴミ出しルールを遵守しましょう。
- ・ 紙は種類ごとに分別しましょう。
- ・ マイ箸の持参、洗い箸の利用を推進する。
- ・ 空き缶、空き瓶等は、中身をすすいで出しましょう。
- ・ シュレッダーの使用は機密文書だけにし、可能な限りリサイクルしましょう。
- ・ 使用済み自社製品の回収・リサイクル等に努めましょう。
- ・ リユース（繰り返し使う）、リデュース（製造に必要な資源を削減する）、リサイクル（再利用する）の3Rに加え、リニューアブル（再生可能な資源を使う）などを取り入れましょう。



3-5. 再生品・再生資源利用の促進

- ・ 再生原料を積極的に使用しましょう。
- ・ 廃棄する際に再使用またはリサイクルしやすい製品を優先的に購入、使用しましょう。
- ・ 輸送には、通い箱など繰り返し使用できる梱包材を使用しましょう。
- ・ 紙、事務用品等はエコマーク商品やグリーンマーク商品、再生紙使用マークのついた商品を優先的に購入、使用するなど「グリーン購入」に努めましょう。



エコマーク
(日本環境協会)



グリーンマーク



再生紙使用マーク

その他事業内容に応じて必要な項目

4. フロンの使用削減

4-1. 特定フロンの削減、適正処理

- ・ オゾン層を破壊する特定フロンから、オゾン層を破壊しない代替フロンや、温室効果の小さいグリーン冷媒へ転換しましょう。
- ・ 特定フロンの回収・適正処理に取り組みましょう。

5. 製品の開発・設計等

5-1. 設計

- ・ 製品の長寿命化に努めましょう。
- ・ 再生資源を積極的に使用しましょう。
- ・ 製品の包装は可能な限り簡素化しましょう。
- ・ 製品の使用過程でのエネルギー削減に努めましょう。
- ・ 製造時に出る排水や排ガスは、安全な状態まで処理しましょう。
- ・ 製品の小型化・軽量化等により、資源使用量のミニマム化に努めましょう。
- ・ リサイクルしやすいように、素材の種類や製品の部品点数の削減や、ネジの削減らすこと等により解体しやすい構造にしましょう。

5-2. 消費者に対する情報提供

- ・ 再生資源を使用した商品、再生可能な商品、繰り返し使える商品、省資源・省エネルギー型の商品、容器包装を簡素化した商品、エコマーク製品等を重点的に販売しましょう。
- ・ 販売の際に環境保全型製品の表示、製品が環境に与える影響の表示等を行いましょ
- ・ 消費者等に環境保全型商品に関する情報を積極的に提供しましょう。

6. 建築物の建築・解体、開発事業

6-1. 環境影響評価・環境配慮

- ・ 新規事業を始める際、企画、計画、設計等それぞれの段階において環境影響を評価し、これに基づき環境保全のための適切な対策を行いましょよう。

6-2. 環境整備と周辺の自然環境の保全

- ・ 敷地内、壁面、屋上等の緑化を行いましょよう。
- ・ 地域の自然環境との調和に配慮し、生態系や景観の保全に取り組みましょよう。
- ・ 太陽光発電設備やエコキュートなどの省エネ設備を導入しましょよう。
- ・ 家や事業所を建て替える際は ZEH・ZEB を検討しましょよう。

・ ZEH (ZEB) とは？

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ビルディング) の略称で、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギー等により年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅 (建物) のこと。

年間の一次エネルギー消費量がゼロを下回らなくても、消費量が20%以上減で ZEH (ZEB) Oriented、75%以上減で Nearly ZEH (ZEB) となります。

出典：資源エネルギー庁

6-3. 建築材

- ・ 建築物の建設・改築に当たり、環境負荷の少ない建築材の使用、建築材の使用合理化に取り組みましょよう。



温暖化 青い地球に 赤信号

(熊本市地球温暖化防止標語)



熊本市 環境局 脱炭素戦略課

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号

TEL : 096-328-2355

FAX : 096-359-9945

E-mail : datsutanso@city.kumamoto.lg.jp

(令和6年3月改定)